

グリーンファンドの CO2 排出量の削減効果が累計 200 万トン突破

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：飯野 裕二 以下、「機構」）は、2013 年 5 月の機構設立以降に出資等を実施しました地域の再生可能エネルギープロジェクト等（地域脱炭素投資促進ファンド事業）による CO2 排出量の削減効果が、2025 年度末時点で累計 200 万トン突破致しました。

この数値は、日本の 81 万世帯分の年間 CO2 排出量に相当する削減効果となります。

（出典：環境省「家庭部門の CO2 排出実態統計調査」（令和 5 年度））

また、スギ人工林（36 年から 40 年生）1ha が 1 年間に吸収する CO2 の量は、約 8.8 トンと推定されており、それをもとに換算しますと、機構の CO2 排出量の累計削減効果 200 万トンは、東京都とほぼ同じ広さである約 23 万 ha のスギ人工林（約 2 億本）による CO2 吸収量に相当する計算となります。

（出典：林野庁 HP「[森林はどのぐらいの量の二酸化炭素を吸収しているの？](#)」）

機構は今後も脱炭素社会実現に向けて、地域の再生可能エネルギープロジェクトを支援して参ります。

<お問い合わせ先>

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話番号：03-6257-3864（代表電話）

ホームページ：<http://greenfinance.jp/>
